

学内ボート大会 安全のしおり

学内ボート大会へ参加される皆様に、大会で使用されるナックル艇や、コースその他安全性についてご説明させていただきます。

ナックル艇

・初心者体験用や市民レガッタ、遠漕会などで使用されているレクリエーション艇です。レース艇より幅が広く、とても重たいため、簡単にひっくり返ることはありません。



・艇のガンネル(縁の部分)も高く、乗り降りの際も安定してつかまり、動作が行えます。落水することは考えにくいです。

・当日は、救命胴衣を着用します。コース内に救助艇も待機します。

・コックス1名と漕ぎ手で1グループ、それに加え、実際に舵を切るためのコックスとしてボート部員が全クルーに同乗します。

・片付け、準備の際はボート部員が常に率先して行っていきます。安全な運営のためにも、指示に従っていただけますようご協力よろしくお願いいたします。

戸田ボートコース

昭和39年の東京オリンピック以来、昭和42年及び平成16年の埼玉国体、全日本選手権大会などが開催されています。全長2400m、幅90m(6コース)のボート専用施設です。河川など天然のコースと違って橋脚や堰がなく、安全な航行が可能です。

ナックル艇の航行は、各クルーに同乗する舵手(ボート部員・ボート部OBOG)が行います。当日は、学内ボート大会のためにボートコースを閉鎖しているため、基本的に他団体の艇の航行はありません。

午前の練習では、各棧橋からゴール付近の水域を周回する形で練習を行います。(午後のレースでは、1500m地点のランドマークをスタート地点とし、2000mをゴール地点とします。)

